

會務報告

第 27 卷 第 7 號 昭和 16 年 7 月

役員會

第 7 回理事會 (昭. 16. 5. 26.)

出席者：吉田、黒田兩副會長，稻葉理事外 2 名，小野寺庶務主任外 1 名

議 事

1. 株式會社科學主義工業社申入れの土木學會誌交換の件は希望に應じ兼る旨回答。
2. 常議員佐藤忠三郎君辭任(華北へ轉勤)に伴ふ、常議員 1 名の補充は次期改選期まで缺員の儘とす。
3. 入退會を別記の通り承認。

第 8 回理事會 (昭. 16. 6. 3.)

出席者：谷口會長，吉田，黒田兩副會長，青木理事外 4 名，中村書記長外 3 名

報 告

1. 北海道支部役員異動

議 事

1. 地方委員(鐵道局工務部長)招待午餐會を 6 月 19 日開催。
2. 下記會員の一時納附會費を基金に編入。鈴木長治君，瀧尾達也君，村 幸雄君。
3. 華北支部設置に當り交附金増補額に就き協議。
4. 滿洲土木學會より創立に關する費用援助に就き協議。
5. 水力開發促進の建議は一時保留。
6. 本會々長を日本動力協會參與員に推薦あり之を承諾す。
7. 防空土木施設報告の取扱ひに關し來る 6 月 6 日正午より臨時理事會開催。

第 9 回理事會 (昭. 16. 6. 6.)

出席者：谷口會長，吉田，黒田兩副會長，青木理事外 5 名，辰馬防空土木委員會委員長，春藤幹事長，阿部幹事外 6 名，中村書記長外 3 名。

議 事

1. 防空土木施設調査報告の措置に就て協議したる結果本調査をして有意義ならしむるため新に防空土木施設促進委員會を設置し、之が實行方法其他に關し研究すること。

2. 委員長及委員の選定に就ては谷口會長及辰馬委員長に一任。

以上の議事終了後、谷口會長，辰馬委員長，吉田，黒田兩副會長，青木理事，春藤，今井兩幹事居残り次の申合せをなせり。

1. 防空土木施設促進委員會委員長及委員に次の諸君を選定。

委員長 辰馬 鐵藏君

委員 吉田徳次郎君 黒田 武定君 青木 楠男君
 稻葉權兵衛君 春藤 眞三君 今井 周君
 金子源一郎君 吉田 直君 岩崎 富久君
 石塚 久辰君 目黒 雄平君 笹 森 巽君
 阿部 二郎君 淨法寺朝美君 末森 猛雄君

2. 6 月 9 日(月曜日)常議員會を開催し委員會設置の件を諮ること。

3. 6 月 11 日(水曜日)第 1 回委員會を開催して實行方法等に就き協議すること。

第 4 回常議員會 (昭. 16. 5. 26.)

出席者：吉田，黒田兩副會長，稻葉常議員外 4 名，小野寺庶務主任外 1 名

報 告

1. 日本製鐵會社技術研究所へ土木學會誌寄贈。
2. 海外文獻抄録員追加依頼(前回理事會議事参照)。
3. 中部支部見學旅行及岐阜縣都會開催。
4. 東北支部第 4 回總會議事及視察見學旅行開催。
5. 朝鮮支部第 1 回役員會議事。
6. 關西支部第 3 回役員會議事。
7. 5 月中入退會を別紙(省略)の通り承認。

議 事

1. 常議員佐藤忠三郎君辭任に伴ふ、常議員 1 名の補充は次期改選期まで缺員の儘とすること。

第 5 回常議員會 (昭. 16. 6. 9.)

出席者：谷口會長，吉田，黒田兩副會長，青木常議員外 10 名，中村書記長外 2 名

議 事

1. 防空土木委員會の調査研究に成る防空土木施設の成案に對する措置並に之が實行方法等を攻究するため、防空土木施設促進委員會を設置することとせり。
2. 防空土木施設促進委員會委員(理事會議事参照)依頼。

以上議事終了後第 3 回年次學術講演會論文募集に就き懇談し、可成多數推薦することに申合せり。

總務部記事

防空土木委員會 (昭. 16. 5. 27.)

出席者：辰馬委員長，阿部委員外 40 名，野坂特別委員，淺野事務幹事，小野寺庶務主任

1. 辰馬委員長より防空土木施設に對する調査研究

の経過及結果に就き説明し次で關係委員及幹事諸君の絶大なる努力に對し満腔の謝意を表す。

2. 春藤幹事長より幹事會に於て慎重審議決定せる帝都(横濱, 川崎市も含む)防空土木施設調査報告別紙(省略)各項の要點に就て説明あり, 議事に入り満場一致を以て原案を可決し會長に報告することとす。

3. 各地支部關係の調査報告は6月末委員會に上程すること。

防空土木施設促進委員會 (昭. 16. 6. 9.)

出席者: 谷口會長, 辰馬委員長, 吉田委員外 9 名
中村書記長外 1 名

谷口會長より本委員會設置の趣旨に對し協力方依頼の挨拶あり, 次で辰馬委員長より本委員會事業の進行方針等に就き意見を述べ議事に入る。

1. 防空土木委員會に於て成案を得たる防空土木施設調査報告の措置に關しては先以て非公式に當路者を招致して本案の内容に就き説明し懇談すること, 而して其の交渉は青木委員に一任。

2. 他學協會と聯携に關しては春藤委員に於て非公式に調査の上更に協議すること。

午餐會 (昭. 16. 5. 23.)

土木學會地方委員内務省土木主任官關係招待

會 場: あじあ(満鐵ビル)

出席者: 山口福岡縣土木部長外 43 名, 高橋第一技術課長外 13 名, 谷口會長, 吉田副會長, 岩崎常議員外 8 名, 田邊前會長外 4 名, 中村書記長外 4 名。

編輯部記事

第 6 回會誌編輯委員會 (昭. 16. 6. 4.)

出席者: 廣瀬委員長, 今井委員外 7 名, 左合編輯主任外 3 名

1. 第 27 卷第 5 號登載原稿謝禮を決定
2. 第 27 卷第 8 號登載原稿を次の如く決定
論說報告: 捨石工法に就て(正, 吉村善臣), 軌條に作用する横壓力(正, 千秋邦夫), 乾燥砂の運動の機構(正, 最上武雄)

彙 報: 各國の雜誌に現れた水理學の文獻(3)(正, 本間 仁), 層流と亂流の限界に就いての一考察(正, 最上武雄)

抄 録: 橋梁の支承に於ける摩擦力の考慮に就いて, 石塊堰堤として設計變更せられた Mud Mountain Dam, 鐵道橋の動力學的應力の研究, 多層ラーメンの計算に對するメルシの公式の簡易化, セメントに依る路面土壤安定工法, 移動桁の影響線, 土木工事用機械器具及其の能率の進歩, 世界最大のデ

ツバ浚渫船, 土堰堤の飽和に要する時間; Tension Coefficient 法の應用例, Ogee 形堰に對する理論的の溢流係數。

調査部記事

コンクリート調査委員會 (第 17 回一般構造物コンクリート小委員會) (昭. 16. 5. 15.)

出席者: 沼田委員長, 内山委員外 6 名

1. 第 17 章許容應力度に就き審議。
2. 附録, 試験方法に就き審議, 壓縮試験供試體の製作方法に就いては次回に保留。
3. 本日を以て第 1 讀會終了。

コンクリート調査委員會 (第 37 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 16. 5. 20.)

出席者: 沼田委員長, 吉田委員外 5 名

協議事項 第 23 條, 第 24 條, 第 25 條を逐條審議。

コンクリート調査委員會 (第 18 回一般構造物コンクリート小委員會) (昭. 16. 5. 22.)

出席者: 沼田委員長, 内山委員外 5 名

1. 本日より第 2 讀會を開始。
2. 第 1 條~第 18 條に就て審議。
3. 第 2 條定義及び第 7 條セメントの條項に珪酸質混合セメントを挿入し之を臨時規格に據る事とし次回に訂正。
4. 第 13 條粒度(2)の文章を調査して次回に訂正。

コンクリート調査委員會 (第 19 回一般構造物コンクリート小委員會) (昭. 16. 5. 29.)

出席者: 沼田委員長, 内山, 吉田(徳)各委員, 磯崎君

1. 第 19 條~第 28 條に就て審議。
2. 前回の懸案第 2 條, 第 7 條及び第 13 條を審議決定。
3. 第 1 讀會第 17 回委員會懸案附録試験方法第 32 條填充の條項審議決定。
4. 第 20 條示方配合を懸案とす。

コンクリート調査委員會 (第 20 回一般構造物コンクリート小委員會) (昭. 16. 6. 5.)

出席者: 沼田委員長, 吉田委員外 3 名

1. 第 29 條榎より第 39 條堰板まで審議。

コンクリート調査委員會 (第 38 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 16. 6. 10.)

出席者: 沼田委員長, 内山委員外 7 名

協議事項
第 26 條より第 29 條迄解説に付逐條審議。

コンクリート調査委員会（第 21 回一般構造物コンクリート小委員会）（昭. 16. 6. 12.）

出席者： 沼田委員長，吉田委員外 3 名

1. 第 2 讀會案に就き，第 40 條型枠及び支保工より第 48 條材料の加熱までを審議。

水理公式調査委員会（昭. 16. 5. 19.）

出席者： 鈴木委員長，安藝，本間兩幹事，阿部委員外 11 名

前總會に引續き第 2 部會及第 3 部會の草案に就き逐條審議討論を行ひ，次回は 6 月 3 日に開催し第 2 部會草案を審議する事。

水理公式調査委員会 第 1 部會（昭. 16. 6. 2.）

出席者： 富永主査，阿部委員外 8 名

議 題

部會草案に就き逐條審議，討論を行ひ，部會草案全般に互りて再検討を行ひ，部會の意見を纏めたり。

水理公式調査委員会（昭. 16. 6. 3.）

出席者： 鈴木委員長，本間幹事，阿部委員外 5 名

議 題

前會に引續き第 2 部會草案に付き逐條審議討論を行ひ總會の意見を纏めたり。

東北支部記事

第 4 回總會並視察見學旅行（昭. 16. 5. 3, 4.）

會 場： 東山温泉向瀧

出席者： 金森支部長外 134 名

議 事： 1. 昭和 15 年度事業及收支決算
2. 昭和 16 年度豫算

講 演： (1) 裏磐梯三湖の調整と猪苗代湖々面低下計畫に就て 正會員 知久清之助君
(2) 阿賀川筋に於ける堰堤式發電所に就て 正會員 幡鎌 俊次君

講演終了後同所に於て懇親會を開く

視察見學： 白虎隊の遺跡，日橋川十六橋，野口英世家，猪苗代湖々面低下用ポンプ，秋元發電所

北海道支部記事

役員移動

商議員（新任）齋藤 静脩君

幹 事（新任）宮澤 吉弘君

（退任）笠谷 孝君

中部支部記事

視察見學旅行（昭. 16. 4. 26, 27.）

参加者： 田淵支部長外 55 名

行 程： 第 1 日名鑑神宮前集合，岩屋觀音，豐濱運河展望，濱名湖，館山寺ホテル一泊，懇親會，第 2 日天龍建設工事，日本樂器會社

岐阜部會（昭. 16. 3. 29.）

出席者： 田淵支部長外 23 名

會 場： 大垣商工會議所

議 事： 昭和 15 年岐阜部會事業及收支決算

會員異動及募集，木曾川系統利水計畫委員會防空對策委員會の意見

講 演： 1. 深坂隧道に就て

准會員 岩永 義美君

2. 航空機に就て

陸軍大佐 山名 要君

講演終了後同所に於て懇親會を開き引續き座談會を開催「大垣運河と悪毒水處理」に就て検討せり。

西部支部記事

講演會及視察旅行（昭. 16. 5. 25.）

會 場： 長崎市公會堂

出席者： 三瀬支部長外約 190 名

講 演： 1. 塵埃空氣を使用せる隧道掘鑿に就て

准會員 坂本 貞雄君

2. 南アジアに於ける土木工事の大要に就て 正會員 吉田 彌七君

3. 維新前長崎に於ける土木工事

長崎市史料編纂官 古賀十二郎君

視察旅行： 第 1 班，長崎港並に市内史蹟

第 2 班，雲仙國立公園。

その他記事

土木學會誌第 27 卷第 6 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

入會及轉格會員

特別會員

八幡市

園 師 兼 式 大 塚 俊 一 田 中 徳 雄 3 級

福博電車株式會社
福岡縣門司市

村上巧兒植山修郎湯池茂樹 3級
松本正雄樽谷萬治吉田多一

正會員

淺山豐石田鑛一郎鈴木松雄丹峰三塚田俊治野中野啓一
長淵巖野中田隆三山崎光義山下武雄山本谷利夫夫
吉田與四郎井野栗中田純保紀政田一夫重政

准會員

荒井滿雄井河四郎井原敦毅伊藤藤愛橘石火矢清加賀田二四夫
川森一郎河野公忠本德相相熊谷公義雄桑野幸清栗山山良等
古賀武三士逆瀨川忠水正治島勸使原正義一須田幸萬次美滿年夫己裕
中鈴木尾ッ森重覺人八義
宮幸大德南重一

學生會員

安達重男安藤正人相場登赤木好雄赤坂芳彦秋篠篠文夫
井澤親人飯田泰之石原英雄上田正士漆原大治榮木菅盛俊男
熊野賀夫倉重長河原貞義黑田黑佐德西別岡角迫多鶴松茨古麻山和茶雪朴
小松野川澤美富克務田本重公一利善
中野俊夫及川藤村司井田下部本川內田根隆
深遠古谷務田本重公一利善
加河澁高本宮谷尾岩山吉淺廣北

正會員 (轉格)

安藤修伊藤藤專一磯崎傳作稻穗義信今村新大森金一
川口克己佐藤藤章道祖土良澤田山克己勝男鈴木二
野中五郎高橋正長磯道長尾健昌山孝大東藤井松久澤子正
平野

南 和 男 森 敏 夫 安 成 季 隆 山 口 季 男 山 下 源 松 吉 津 丈 夫
 渡 邊 仁 一 郎 佐 川 喜 久 壽 古 川 四 郎

准 會 員 (轉 格)

遠 藤 喜 雄 小 野 幸 一 大 西 達 一 金 森 慶 行 魚 武 慶 久 柄 兼 道
 小 柴 進 櫻 井 重 夫 島 崎 董 下 川 元 康 下 地 勇 菅 原 禎 一 郎
 相 馬 百 合 彦 田 中 玄 夫 市 川 一 郎 岡 山 榮 雲 川 孝 承 中 坪 一 夫 彦
 二 瓶 英 男 西 畑 昭 林 正 美 村 田 三 郎 森 俊 介 鷲 尾 忠
 西 村 愿 松 岡 翰 明 三 木 泰 藏 通 川 滿 吉 田 廣 太 郎

土 木 學 會 々 員 數 (昭. 16. 5. 26. 現 在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合 計
2	3686	5619	1135	125	26	10593

正會員 後 藤 繁 登君, 藤 田 金 次 郎君の訃報に接す, 本會は恭しく
 哀悼の意を表す

准會員 神 山 慶 三君, 清 水 清君, 林 知 己君の訃報に
 接す, 本會は恭しく哀悼の意を表す

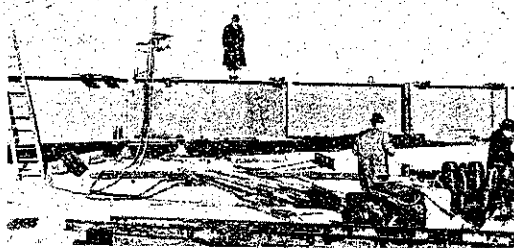
正 誤 訂 正 表

ドイツに於ける鋼橋應力及び振動測定並に熔接鋼橋のレントゲン試験視察報告

(第 27 卷 第 5 號所載)

頁	列	誤	正	頁	列	誤	正
452	下より 4	Versuchs- vors lung	Versuchs- forschung	504	下より 11	Summen- einflusslinie	Summen- einflusslinie
461		圖-43 誤挿	下圖-43	"	下より 5	Eichgrösse	Eichgrösse
465	下より 1	<III	VIII	507	下より 4	Spannungs-und	Spannungs- und
490	下より 17	現象に	現象は	"	下より 2	Schwingungs- messers	Schwingungs- messers
502	下より 17	σ mittel	σ mittel	508	下より 11	Sender	Sender
"	下より 2	Raddpücke	Raddrücke	510	上より 2	Eüsseldorf	Düsseldorf
503	上より 4	Triebbrad- diagramma	Triebbrad- diagramme				

圖-43



既刊會誌殘部内譯

第27巻第7號

(* は残部有るものを示す)

巻 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1部) (圓)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	—	*	*	—	—	*	—	1.00
18	—	—	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
19	*	*	*	—	*	*	—	*	*	*	*	*	1.00
20	—	—	*	—	—	—	—	*	—	*	—	*	1.00
21	—	—	*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	*	*	—	*	*	*	*	*	1.00
24	*	*	*	*	—	—	*	*	*	—	—	—	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	*	*	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	—	*	*	—	*	*	1.00
27	*	—	*	—	—	*	—	—	—	—	—	—	
第20巻第12號 (創立30周年記念號)													1.50
第21巻第7號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震震害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書													1.20
同上 解説													
土木工學論文抄録第一輯													3.50
土木工學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第1巻第1號~第20巻第12號)													0.50
土木工學用語集													2.50 (會員に限り1割引)

上記殘部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16828 番にお拂込み下さい。